

InfoCage FileShell

機密情報保護ソフトウェア



Microsoft社のIRM*1を用い さまざまな場所のファイルを自動保護(認証+暗号化) ファイルが流出しても読まれない安心な経営基盤を実現。

機密情報保護における問題と対策事例

経営リスクに繋がる機密情報の漏えいを防止!

問題

- 標的型攻撃の高度化、改正個人情報保護法により、機密情報(技術情報、個人情報)の漏えいリスクはますます高まり、経営リスクに。
- 機密情報を利用者に区別させるような利用者のモラルに依存した対策の限界。
- セキュリティ強化による、業務効率低下の懸念。

対策

- 『ファイルが流出しても読まれない安心感』で『安全・安心な経営基盤』を確立する。
- 機密情報の判断を利用者任せにしない『自動的なファイル保護』。
- 『利用者の操作性は変わらず』セキュリティと利便性を両立。

InfoCage FileShellの特長

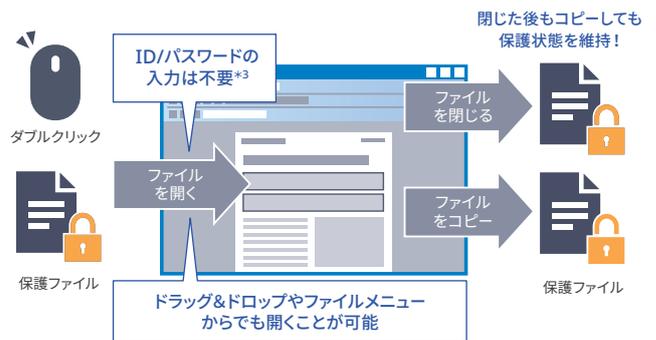
1 自動でモレなくファイルを保護

手作業で保護する必要はありません



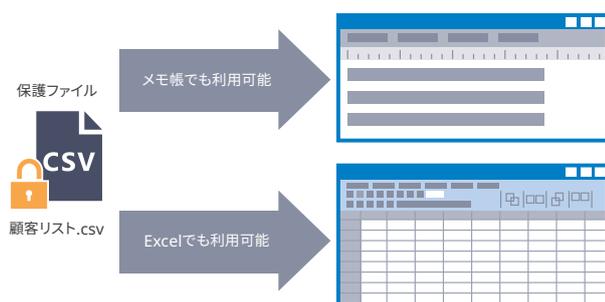
2 導入後も利用者の操作は従来通り

保護されたまま編集・閲覧可能



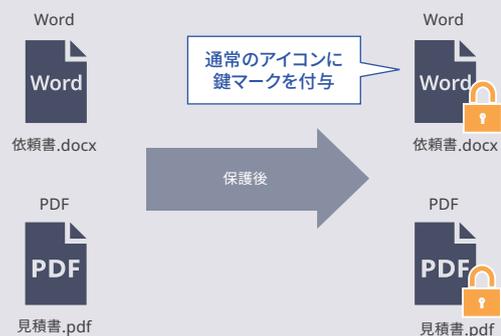
3 多種多様なファイルを保護

利用するアプリケーションも自由



4 保護済みファイルも簡単に視認

拡張子も変わらないため見失いません

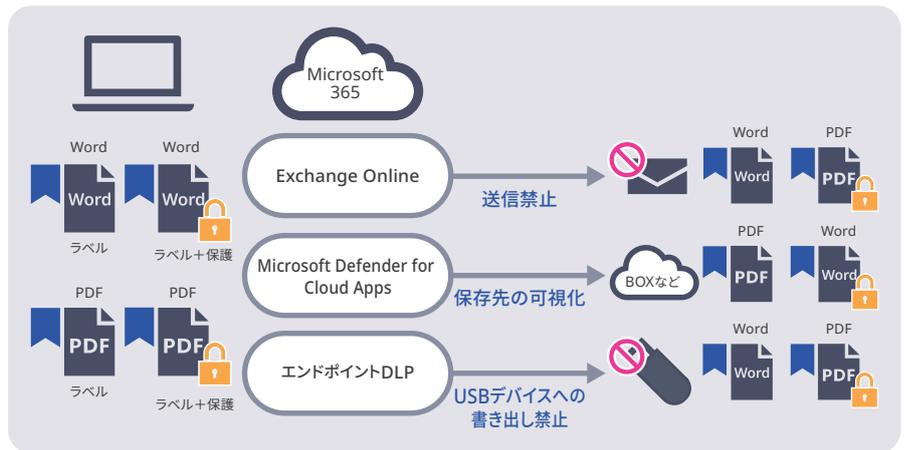


*1: Information Rights Management *2: Microsoft OneDriveまたはMicrosoft OneDrive for Business *3: 本システムが参加しているActive Directoryにログイン時。もしくは簡易認証連携携帯オプション利用時。

クラウドサービスとの連携を強化

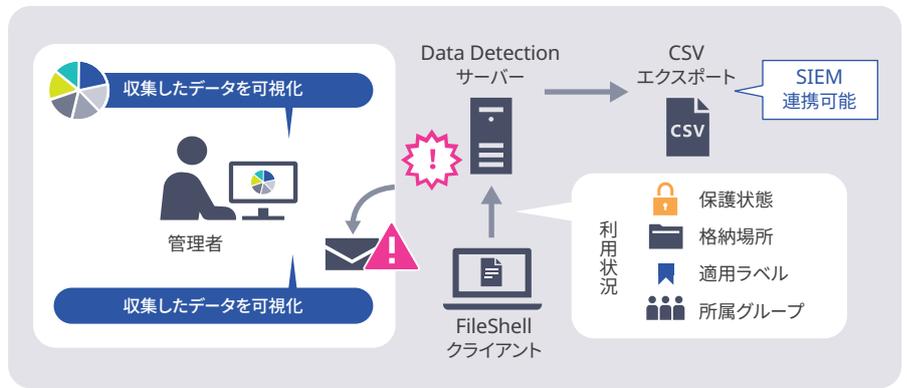
MPIP*1のラベル機能に準拠してOfficeファイル、PDFファイルを分類でき、Microsoft365の各種サービスと連携可能です。

Officeファイル、PDFファイル以外にも、拡張子を変えずに保護が可能です。



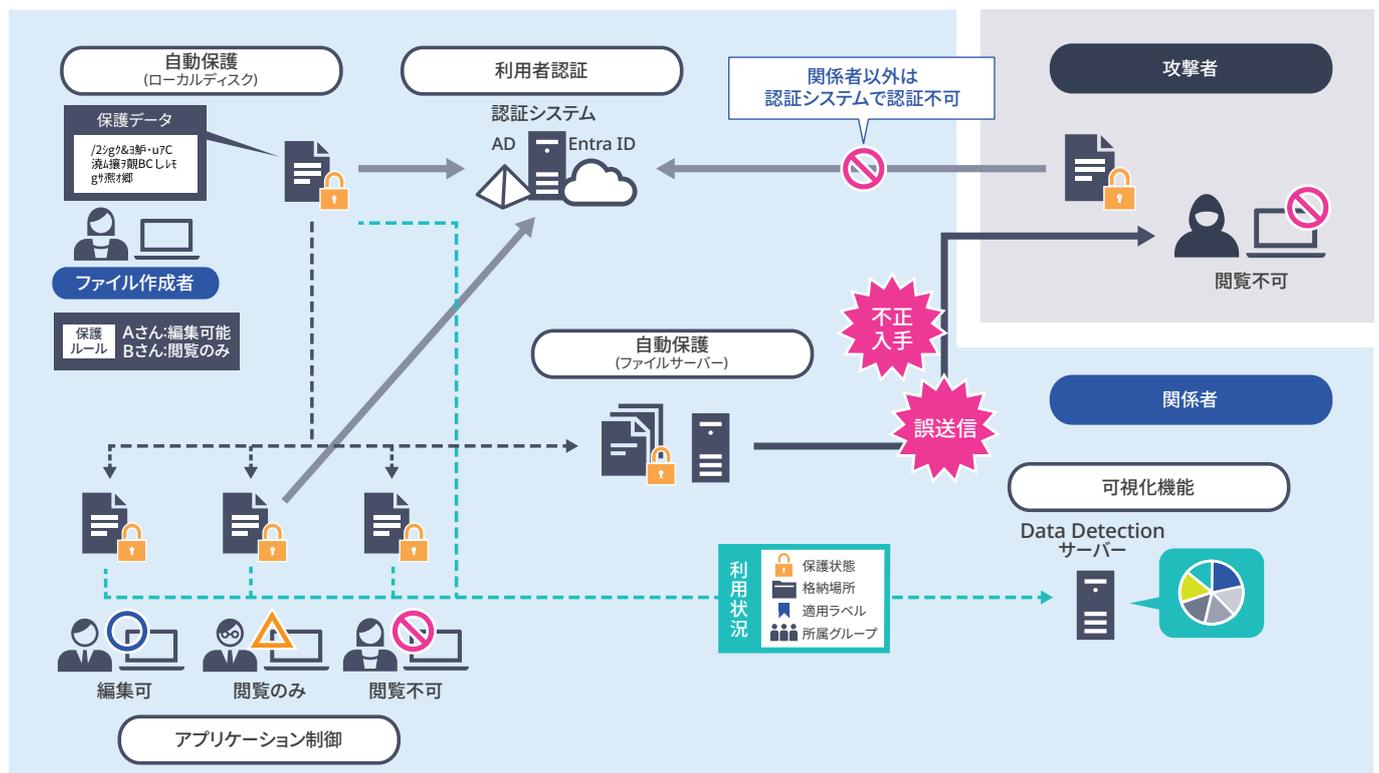
Data Detection(ファイル利用状況可視化ツール)の提供

- ユーザー環境でのファイル利用状況(ファイルの保護状況、格納場所、ラベルの適用状況、所属グループなどを収集し可視化します。
- 事前に設定したルールに基づきアラートを通知することが可能です。
- 収集したデータはSIEM機能に取り込み可能なCSVとしてエクスポート可能です。



実現イメージ

- ファイル自身にセキュリティ情報を持たせ、ファイルがどこに存在しても、常にアクセスとアプリケーションの操作を制限。万が一、ファイルが漏えいしても、中身は漏えいしない安心できる環境を実現。
- 大切な情報を安心して保護・管理できる基盤として、AD*2あるいはEntra ID*3と連動して保護できるAD RMS*4およびMPIPを採用。利用者の管理も変更不要。



*1: Microsoft Purview Information Protection *2: Active Directory *3: Microsoft Entra ID (旧Azure AD) *4: Active Directory Rights Management Services

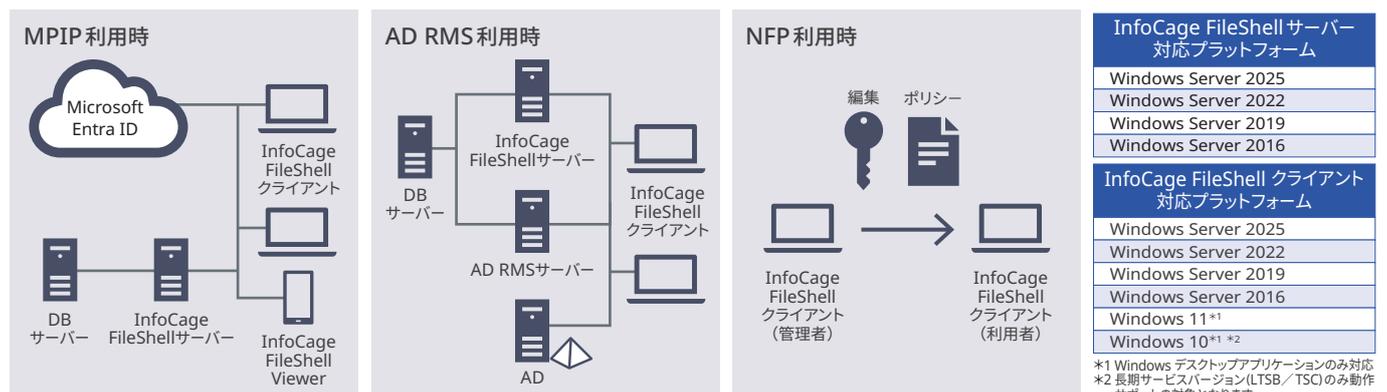
AIラベリング機能:AIによる機密度分類で情報漏えいリスクを低減

『NEC 機密度AI判定システム』と連携し、文書内容から機密度を自動判定して適切なラベルを付与する「AIラベリング機能*」を提供。利用者による「ラベル付与忘れ」や「ラベル付与誤り」などによる情報漏えいリスクを低減します。



* 「AIラベリング機能」を利用するためには、『NEC 機密度AI判定システム』を別途、購入する必要があります。

動作環境



●本例はあくまで参考情報であり、冗長化等の構成は導入の際、実環境に合わせた構成を考慮する必要があります。 ●InfoCage FileShell サーバーのDBサーバーとして、SQL Server または PostgreSQL が必要になります。
●InfoCage FileShell サーバーを構築しない構成も可能です。

製品構成

製品名	概要
InfoCage FileShell メディアキット	InfoCage FileShell サーバーおよびInfoCage FileShell クライアントのソフトウェア
InfoCage FileShell ベースライセンス	設定されたポリシーに従い、ファイルの保護やアプリケーションの制御を行うためのユーザライセンス
InfoCage FileShell NEC File Protection Edition ライセンス	NFP を利用するためのユーザライセンス(ベースライセンスも必要)
InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバ	InfoCage FileShell クライアントが導入されていないPCや業務システムからファイルサーバーにファイルが格納された時に自動で保護するためのライセンス
InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションユーザライセンス	FileShell システムを導入したADとは別ドメインにログオンしている場合に表示される、ファイル利用時の認証画面へID/パスワードの入力を自動化するためのユーザライセンス

●別途、OS、SQL Server、AD RMS、MPIP (Microsoft 365 E3以上)等のライセンスが必要です。●InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバを利用する場合は、別途InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバのメディアキットが必要です。●InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバは保護専用です。ファイルを開覧・保護解除するにはInfoCage FileShell クライアントが必要です。●InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションを利用する場合は、別途、InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションのメディアキットが必要です。●InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションのみでのご利用はできません。InfoCage FileShell クライアントが必要です。

お問い合わせは、下記へ

NEC ファーストコンタクトセンター
ソフトウェアお問い合わせ窓口

TEL:0120-5800-72

【受付時間】9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・NEC所定の休日を除く)

<https://jpn.nec.com/infocage/fileshell/>

●本カタログ中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。 ●本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。●本カタログに掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。